

**メビウスパッケージング、三社共同での
プラスチック容器リユース・リサイクル事業の実装に向けた実証実験を開始
-東京都環境公社の「サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業補助金」に採択-**

東洋製罐グループホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：中村琢司）の連結子会社であるメビウスパッケージング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：飯田高、以下「メビウスパッケージング」）は、シーバイエス株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役会長兼社長：諸星重文、以下「シーバイエス」）および鈴与エコプロダクツ株式会社（本社：静岡県袋井市、代表取締役社長：岩崎栄二、以下「鈴与エコプロダクツ」）との三社共同で、業務用小型プラスチックボトルのリユース・リサイクル事業における実証実験を、2025年10月より開始します。

本取り組みを通じて、プラスチック容器のリユース・リサイクルスキームの早期社会実装に向けた課題・改善方法を検証し、今後さまざまな得意先に向けた展開を検討しながら、サーキュラーエコノミーの実現につなげていきます。

なお、本取り組みは、公益財団法人東京都環境公社の「サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業補助金」^{※1}の対象事業として採択されています。



■本取り組みの背景

東洋製罐グループでは、中長期環境目標として「Eco Action Plan 2030」を掲げており、廃プラスチックや温室効果ガス（GHG）といった炭素を含むものを資源として捉え、リサイクル推進などの取り組みを通じて、資源循環社会の実現を目指してきました。

そしてこのたび、その取り組みの一環として、リユース事業を通じて廃棄物やGHGの削減を目指している鈴与エコプロダクツ、およびプラスチック使用量削減を推進しているシーバイエスと共同で、プラスチック容器のリユース・

リサイクルスキームの社会実装に向けた実証実験を実施します。リサイクルとリユースを組み合わせることで、1Way 容器^{※2}を製造した場合と比較して GHG 排出量の大幅な削減^{※3}に加え、プラスチック資源の使用量削減や、産業廃棄物処理・廃プラスチック処理費用の低減が期待できます。

※1 地域密着型のサーキュラーエコノミーの実現を目指す事業者等を支援するための補助金制度

Web サイト：<https://www.circulareconomy.metro.tokyo.lg.jp/subsidized-business/social-implementation>

※2 一度だけ使用して廃棄されることを前提に作られた容器。東洋製罐グループでは、同容器のリサイクルを積極的に推進しています

※3 容器製造に関わる工程（原料採掘・採取から容器の製造・輸送、使用後の廃棄・リサイクル）で発生する GHG の排出量における、1Way 容器を 10 個製造する場合と、リユース容器 1 個を 10 回使用する場合での比較

■本取り組みについて

2025 年 10 月～12 月と、2026 年 1 月～2 月の 2 つの期間において、メビウスパッケージングが製造したリユース用のプラスチック容器を、清掃用洗剤等の販売業者であるシーバイエス、およびリユース事業者である鈴与エコプロダクツと連携して、リユースとリサイクルの両面で循環させるスキームの実証実験を行います。

目的：

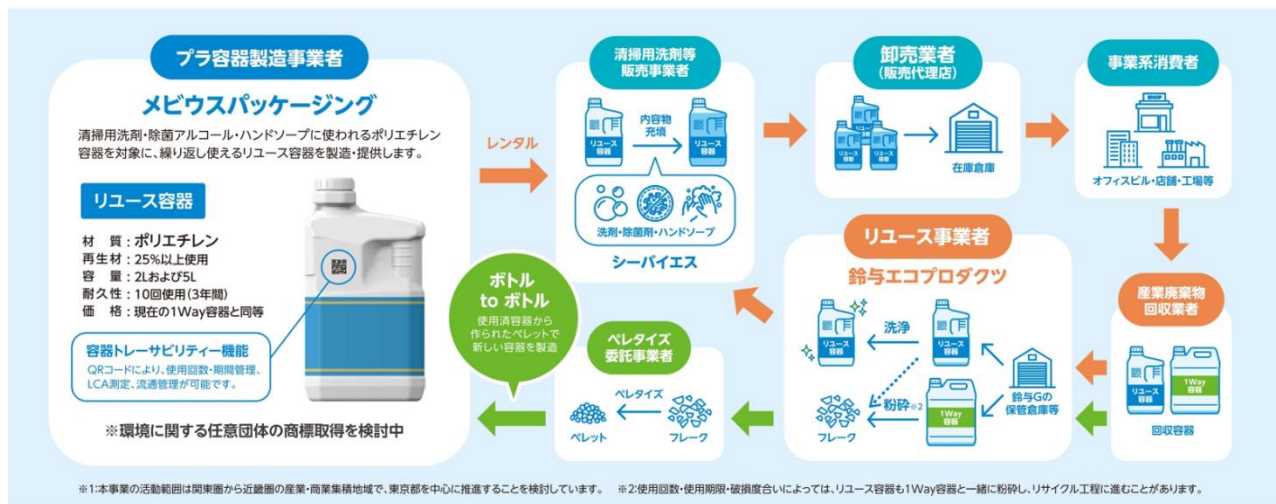
- ① 事業収益性確保に向けた課題抽出およびプラスチック資源循環に関わる制度化（流通・回収）の提言
- ② プラスチック容器のリユース・リサイクルによる二酸化炭素量排出量の削減効果測定
- ③ プラスチック資源（プラスチック容器原料）の使用量削減の測定
- ④ 産業廃棄物処理・廃プラ処理費用低減の測定

メビウスパッケージング株式会社は、業務用プラスチック容器の

リユース事業 と **リサイクル事業** を計画しています^{※1}

→ 使い捨てプラスチック容器の一部を繰り返し使えるリユース容器に置き換える事業

→ リユース容器の回収と併せて、同じ製品群の使い捨て容器(1way容器)を回収し、リサイクル材に再生する事業



期待できる効果

1 プラ容器のGHG低減
 1way容器に対しGHG排出量を大幅に削減

2 プラ資源の使用量削減
 プラ容器の総体数削減

3 産廃処理費用の低減
 産業廃棄物・廃プラの低減

①リユース用プラスチック容器の製造およびレンタル

メビウスパッケージングにて、清掃用洗剤・除菌アルコール・ハンドソープ向けのリユース用プラスチック容器を製造し、清掃用洗剤等の販売事業者であるシーバイエスへレンタルします。

②卸売・小売り業者を通じて、事業系消費者へ

シーバイエスにて、同容器へ洗剤等の内容物を充填した後、卸売・小売り業者を通じて、オフィスビルや工場などの事業系消費者にご使用いただきます。

③使用済み容器の回収

使用済みのリユース用プラスチック容器は、産業廃棄物業者により 1Way のプラスチック容器と一緒に回収され、鈴与グループの倉庫等を介して、鈴与エコプロダクツに送られます。

④使用済みリユース用プラスチック容器の洗浄・破碎

鈴与エコプロダクツにて、回収された容器の洗浄・破碎を行います。使用済みのリユース用プラスチック容器は、洗浄され、その後シーバイエスより再使用されます。1Way 容器やリユースを繰り返して劣化した容器は、鈴与エコプロダクツにて粉碎された後、委託事業者にてペレタイズ（プラスチック容器の原料化）されます。

⑤リユース容器へリサイクル

メビウスパッケージングにて、ペレタイズされた再生材を一部使用したリユース用プラスチック容器を製造します。

メビウスパッケージングについて

メビウスパッケージングは、2017 年 10 月に設立し、東洋製罐グループの東洋製罐、東罐興業、日本クロージャーのプラスチック容器事業を統合し、2018 年 4 月に新会社として事業を開始しました。東洋製罐グループの一員として、グループ各社で長年培ってきた、優れた技術力、製品開発力、および品質・コスト管理といった経営資源を融合することで、高品質で持続可能な製品の安定供給を実現します。

「生活利便の持続的提供～暮らしを便利に より豊かに～」を経営理念として掲げ、人と環境にやさしい製品・サービスの提供を通じて生活者の豊かな暮らしを支え続けます。

<https://www.mebius-pkg.co.jp/>

東洋製罐グループについて

東洋製罐グループは、金属・プラスチック・紙・ガラス等、それぞれの素材が持つ特性を活かしたさまざまな容器をグローバルに提供する総合包装容器メーカーです。包装容器事業のほか、エンジニアリング・充填・物流事業、鋼板関連事業、機能材料関連事業、不動産関連事業の 5 つの事業を有しています。

当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050 年を見据えた「長期経営ビジョン 2050『未来をつつむ』」を 2021 年 5 月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『暮らしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」

「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進していきます。

1917年に創立し、国内44社（東洋製罐グループホールディングス含む）、海外50社のグループ会社を擁し、約19,000人の従業員が働いています。2025年3月期の連結売上高は9,225億円です。

<https://www.tskg-hd.com/>

■お問い合わせ先

東洋製罐グループホールディングス株式会社

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 中野利・高田・柿本

TEL : 03-4514-2026 Mail : tskg_contact@tskg-hd.com

以 上